

すしらむ

東大阪こども市政だより
第6号 平成19年12月
(2007年)

発行 東大阪市役所 経営企画部 広報広聴室 広報課

〒577-8521 東大阪市荒本北 50 番地の4
TEL06 (4309) 3102
FAX06 (4309) 3821
ホームページ
<http://www.city.higashiosaka.osaka.jp/>



市内のなかまたち 小学1年生 4,718人 2年生 4,887人 3年生 5,040人 4年生 4,984人 5年生 4,896人 6年生 4,731人 (平成19年5月1日現在)

平成7年に兵庫県で最大震度7の地震「阪神・淡路大震災」が発生しました。写真はそのときのまちなかです。いつどこで発生するかわからない地震。地震が起きたとき「自分の身を自分で守る」ためには、日ごろからどうすればいいか考えてみよう。

地震なんかに負けないぞ!



「阪神・淡路大震災」では、6,000人以上の命が失われ、そのうち約5,000人が建物や家具の下じきになって亡くなりました。



ナマズのナーくん

避難しているところを知らせるために、はり紙を残していました。

地震のしくみ

今後、動くかもしれない断層を「活断層」といい、日本には二千ぐらいの活断層があるの、地震が多いといわれています。東大阪にも、「生駒断層」と呼ばれる活断層があります。地震が起きると最大震度六以上の地震がくると予測されています。



地震には大きく二つの種類があります。ひとつは「直下型地震」といいます。

地球の表面は、ヒビが入った卵の「から」のように、何枚にも分かれた「プレート」と呼ばれる大きな岩の板



ナマズのせんせい マー先生

でおわれています。プレートは少しずつ移動していて、境目ではたがいにぶつかり合ったり、もぐりこんだりしています。このたがいのプレートを押し合う動きが、地震を起す正体です。

避難場所を確認!

地震が起きたら避難場所に避難しよう。避難場所は近くの小・中学校だよ。避難場所まで実際に歩いて、途中にたおれやすい大きな看板やブロックべいなど危ないところがないか確認しておこう。

道路が通れなくなって避難場所まで行けなくなることがあるかもしれないから、2か所の避難場所を決めておくといいね。くわしくは防災マップを見てね。



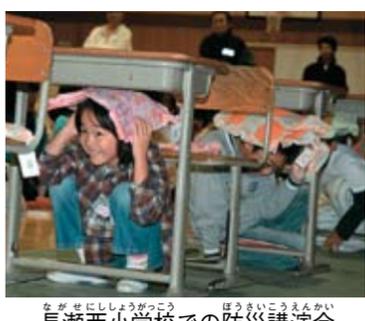
地震だ!

そのときどうする?

もし地震が起きたら、あわてず自分の身を守ろう。建物の中にいるときは、たおれやすい家具や窓ガラスから離れて机の下などに身をかくそう。ざぶとんがあれば、ざぶとんで頭を守ろうね。外へはあわてて飛び出しちゃダメだよ。ガラスやかわらなどが落ちてきてケガをすることがあるからね。外にいたときは、上から物が落ちてくるかもしれないから、かばんなどの持ち物を守ろうね。



物があつたら頭を守るといよいよ。ブロックべいの側やせまい道には近寄らない。へいなどがたおれてくるかもしれないよ。



長瀬西小学校での防災講演会



非常持出袋を用意

地震が起きたときは、水道やガス、電気などが使えなくなることがあるから、3日間過ごせるだけの水・食料・衣類が必要といわれているよ。

いざというときに「懐中電灯の電池が切れていた」なんてことがないようにチェックしておこう。



きみがリーダー! 家族防災会議を開こう

地震の被害を小さくするために、日ごろからの備えが大切なんだ。

訓練に参加したよ(永和小学校)

わたしたちにできること

近所の人との付き合いもいざというとき大きな力になるよ。たいへんなときこそ、まわりの人の助け合いが大切なんだね。わたしたちに何かできることはないかな? 地域の防災訓練に参加して、防災について考えてみよう。



地震が起きたとき、きみの家では家具がたおれてきたり、物が落ちてきたりする危ないところはなかなかな? 一度チェックしてみよう。また、地震が起きて家族が離ればなれになったときのために、集合場所や連絡先を決めておこう。地震などの災害が起きると、携帯電話もつながりにくくなるからね。

小さな手作りのお店を開店 ミニチュア瓢箪山 縄手北小学校の五年生(七十人)が11月21日、大阪商業大学の学生といっしょに瓢箪山駅周辺商店街の駐車場に「ミニチュア瓢箪山」をオープンさせ、大勢の買い物客でにぎわったよ。「ミニチュア瓢箪山」は、子どもたちに商売の楽しさを知ってもらおうと開かれたんだ。オープンの二日前に、パン屋さんや豆腐屋さんなど十二のお店を六人ずつのグループに分かれて訪ね、取材や商品作りにチャレンジ。横田憲明くんは、「パンを作るのに



ミニチュア瓢箪山

小さな手作りのお店を開店



いろいろな工夫がされていて、おもしろいな」と話していたよ。その体験をいかして21日、手作りのお店を開店。給食用のエプロンに、商大生手作りのスカーフを首に巻いた子どもたちが、「焼きたてのパンはどうですか?」など元気いっぱいのお客が集まってきたよ。

子どもたちは、慣れない手つきで商品を袋に入れたり、レジをしたりと大忙し。豆腐を売っていた石田彩さんは「見学に行ったお店なので、自分の商品のようですよ」と笑顔で話してくれたよ。

東大阪アしこへー!!

「埋蔵文化財センター(発掘ふれあい館)」は、遺物の保存や体験学習ができる施設として、平成14年にオープンしました。昭和46年、縄手小学校の地下から「えの木塚古墳」が見つかり、その中から朱色のヒレ付円筒はにわ(直径37cm・写真上)が発見されました。

そのヒレ付円筒はにわをイメージして、縄手小学校の近くにセンターは建てられました。



市内から出土した土器や石器を実際に手でさわることができる埋蔵文化財センターへ一度行ってみませんか。

■ところ・問合せ先 埋蔵文化財センター 072(983)2340



歴史への扉 埋蔵文化財センター

来年春に一部が開通 JR「おおさか東線」

大阪から久宝寺間まで開通する予定で、もつと便利になるよ。11月18日、開通を前に「おおさか東線」をお披露目しようと、高架ウォークが行われたよ。全国から応募があつて、抽選で選ばれた六百人が参加。JR長瀬駅から新加美駅までの約三キロの道のりを歩いたんだ。参加者は「一度きりの貴重な体験ができてよかった」とうれしそうに話していたよ。

